

## 新潟県合同輸血療法委員会 HP 使用状況調査システム入力方法

### ★入力期限★

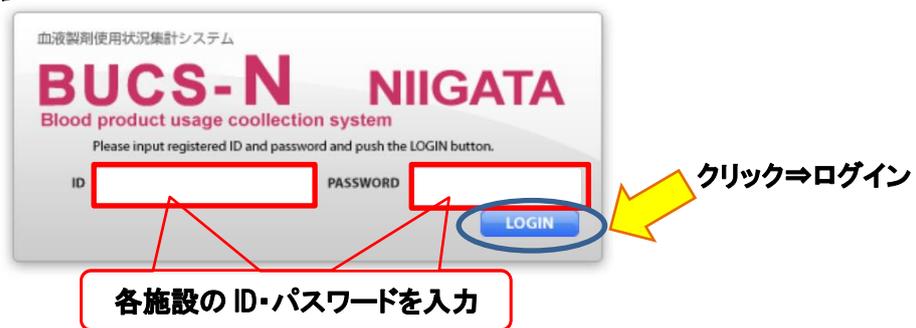
- ・ **翌月 20 日まで**に少なくとも**同種血の使用状況**を入力してください。  
 アルブミン、(自己血)の使用量が不明な場合は後から入力いただいても差し支えありません。  
 例) 1月分を入力する場合は2月20日までに入力
- ・ **同種血の入力が完了した時点**でステータスを「**入力完了**」に変更してください。

**県全体集計を翌々月上旬に HP にアップする都合上、入力期限の厳守をお願いいたします**  
 ※今後は未入力の施設があっても集計させていただきます。  
 その際、集計除外施設数を施設分類別に掲載いたしますのでご了承ください。

### ① ホームページのトップページ「使用状況入力フォーム」をクリック



### ② システムにログイン



### ③ ログインした最初の画面 「入力画面」をクリックして入力フォームへ



④ 入力対象月を選択⇒データ入力

**BUCS-N 新潟県**  
Blood product usage collection system ログインユーザ: 病院

入力画面 FormA **病院入力フォーム**

HOME 入力画面 病院入力フォーム

入力対象データ 2024年1月

< 2023年 前月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 次月 2025年 >

**データ入力したい月をクリック**      ↑ **入力済みの月は黒丸表示**

**輸血実施患者について (延べ人数)**

\* : 延べ人数 : 午前0時からの24時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えてください

(例 : 3日連続輸血⇒延べ人数 3)  
(例 : 結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時および日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2)

⑤ データ入力方法

**入力は全て半角でお願いします**

(1) 「輸血実施患者について (延べ人数)」について

**BUCS-N 新潟県**  
Blood product usage collection system ログインユーザ: 病院

入力画面 FormA **病院入力フォーム**

HOME 入力画面 病院入力フォーム

< 2023年 前月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 次月 2025年 >

**輸血実施患者について (延べ人数)**

\* : 延べ人数 : 午前0時からの24時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えてください

(例 : 3日連続輸血⇒延べ人数 3)  
(例 : 結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時および日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2)

**血液製剤の使用がない**

同種血  名   自己血  名   アルブミン  名

\* 分類可能な施設は入力してください

	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	合計
男性	-	-	4	-	-	5	3	-	12
女性	-	-	-	2	-	-	-	6	8
合計	-	-	4	2	-	5	3	6	20

**輸血がなかった場合は必ずこちらにチェック**

**入力必須 (ゼロは省略可)**

**緑色の欄は自動集計:入力不要**

**データ入力済欄はピンク色**

**注意**

- ・ 延べ人数の考え方 : 午前0時から24時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えます  
例) 3日連続の輸血⇒延べ人数 3  
日をまたいだ手術で、輸血を22時及び、日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2
- ・ 性別年齢別患者数は 同種血の人数のみ を入力してください (同種血の総数 = 性別年齢別の総数)
- ・ 性別年齢別患者数の入力のみ され、同種血が入力されていないケースが散見されますのでご注意ください

(2) 「血液製剤及び自己血の使用」について

血液製剤及び自己血の使用について

アルブミン、自己血は必要に応じて小数点入力してください

\*赤血球製剤には全血製剤も含まれます

\*科別分類が無理な施設は「その他」に使用量を入力してください

緑色の欄は自動集計:入力不要

該当製剤の使用量を入力  
(ゼロは省略可)

	使用量			科別使用量				
	内科	外科	小児科	産婦人科	その他			
(1) 赤血球製剤(単位)	-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 血小板製剤(単位)	-	-	-	-	-	-	-	-
(3) 血漿製剤 (バック数)	↓血漿交換を行った場合は使用量(バック数)を入力してください							
FFP-LR-120	-	-	L	血漿交換分	-	-	-	-
FFP-LR-240	-	-	L	血漿交換分	-	-	-	-
FFP-LR-480	-	-	L	血漿交換分	-	-	-	-
(4) アルブミン (グラム数)	-	-	-	-	-	-	-	-
(5) 自己血(リットル)	貯血	-	回収	-	希釈	-	-	-
	自己血合計	-	-	自己血科別計	-	-	-	-

\* 細分類可能な施設

	血液内科	消化器内科	循環器内科	消化器外科	胸部外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	その他
(1) 赤血球製剤(単位)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 血小板製剤(単位)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3) 血漿製剤 (バック数)	細分化可能な施設は入力をお願いします								
FFP-LR-120	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FFP-LR-240	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FFP-LR-480	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4) アルブミン (グラム数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(5) 自己血(リットル)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 「血液製剤及び自己血の廃棄」について

血液製剤及び自己血の廃棄について

血液製剤の廃棄がない

廃棄がない場合はこちらをチェック

(1) 赤血球製剤  単位

(2) 血小板製剤  単位

(3) 血漿製剤  合計

FFP-LR-120  バック  リットル換算

FFP-LR-240  バック  リットル換算

FFP-LR-480  バック  リットル換算

(4) 自己血(貯血)  リットル

ステータス

入力中

保存する

**重要**

同種血の入力が完了したら、必ず「入力中」を「入力完了」に切り替えてください

※ステータスが「入力中」のままになっている施設が散見されますのでご注意ください

入力を一時中断する時、入力が完了した時に「保存する」をクリック  
入力済みデータを保存できます

ステータスが「入力完了」に切り替わると  
事務局での集計作業が始まります

ステータス

保存する

⑥ 入力済みデータのダウンロード

{CSV ファイル} の場合

ダウンロードしたい月を選択⇒「入力フォーマット」を選択し「CSV ダウンロード」ボタンをクリック

年(1月～12月)集計の場合は年のみ選択

ダウンロードしたい月を選択

ダウンロードしたい範囲を入力  
例)令和5年度を集計する場合  
2023-04～2024-03

クリック

例) ダウンロードした CSV ファイル

Nov-23										
2. 輸血実施患者について (延べ人数)										
* : 延べ人数 : 午前0時から24時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えてください (例 : 3日連続輸血⇒延べ人数 3) (例 : 結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時および日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2)										
血液製剤の使用がない場合は4にお進みください										
同種血	0名	自己血	0名	アルブミン	0名					
* 分類可能な施設は入力してください										
男女別年代別(同種血のみ)										
	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 血液製剤及び自己血の使用について										
アルブミン、自己血は必要に応じて小数点入力してください										
*赤血球製剤には全血製剤も含まれます										
*科別分類が無理な施設は「その他」に使用量を入力してください										
	使用量			科別使用量						
				内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
①赤血球製剤(単位)	0			0	0	0	0	0	0	
②血小板製剤(単位)	0			0	0	0	0	0	0	
③血漿製剤 (バッグ数)	血漿交換を行った場合は使用量(バッグ数)を入力してください									
FFP-LR-120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
FFP-LR-240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
FFP-LR-480	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
④アルブミン (グラム数)	0			0	0	0	0	0	0	
⑤自己血(リットル)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自己血合計	0	自己血科別計	0						

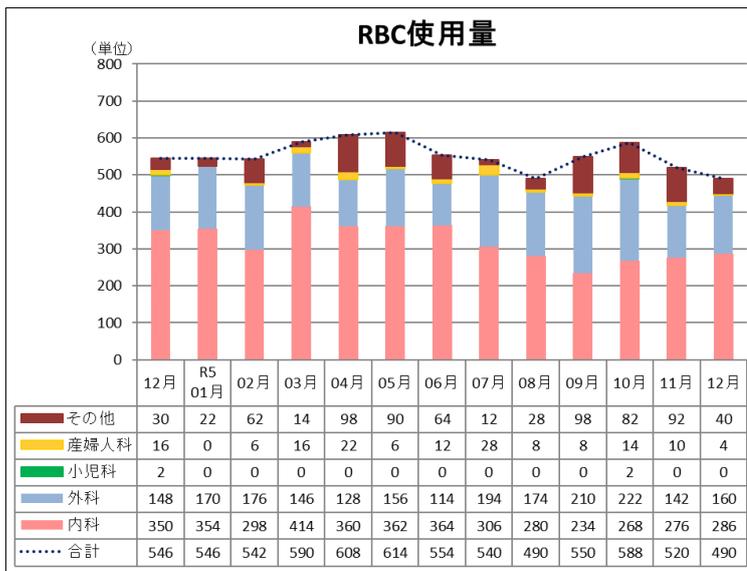
⑦ 各医療機関のグラフ化データの確認・ダウンロード

トップページ「血液製剤使用状況閲覧」から入りID・パスワードを入力



クリック

例) 各医療機関のグラフ化データ一部



その他事項

- ・「保存する」ボタンを使用することによって、入力途中のデータを保存できます。
- ・データ入力後（保存ボタンを押した後）にデータを読み出して修正し「保存する」ボタンを押すと上書き保存されます。
- ・「保存する」ボタンを押すことによって、入力したデータは事務局で使用する集計ソフトに反映されます。データの修正は自施設でできますが、ステータスを「入力完了」に切り替えた後に修正した場合は事務局に連絡してください。
- ・自動集計される緑の欄には入力できません。
- ・「ゼロ」入力は不要です。データを入力しない欄は必然的に「ゼロ」で集計されます。**入力忘れ**や**入力ミス**にご注意ください。
- ・全角で入力した場合、自動集計されませんので**半角で入力**してください。